

8月のコラム 夏にひと呼吸

知り合いの中学生のお嬢さんの夏休みの宿題の話を聞いて驚きました。各教科のワークブックに加え、読書感想文、ポスター、自由研究、〇〇について調べる・・・全部は覚えていないのですが、クラブ活動の練習や行事も毎日のように詰まっているらしく、「気の毒に、これじゃ休みにならないな～」って思っていました。長期の休みに学習習慣が乱れてしまう心配もあるし、授業ではできないことをしてもらうなど色々目的はあると思いますが、親に手伝ってもらったり、今どきだとAIも活用することになるのでしょうか。夏休みの宿題に意味はなくても、「休み」ってなんだろうと考えてしまいました。

最近、企業でも長期の休みを取ることが奨励され、ワークライフバランスを意識した法改正もどんどん進んでいます。今年の「夏休み」はどう過ごされますか？日頃の疲れを回復するためにゆっくり休養？リフレッシュに旅行や趣味活動？いえいえようやく時間がとれたので、気になりつつできていなかった仕事を集中して頑張る？

何が大切なのかは、人それぞれなので何が正解ということはないのですが、できれば全部ストップして、「休む」＝「日頃考えないことを時間に追われず考えるとき」に一部でもできたら良いと思います。

忙しいとどうしてもやっつけ仕事になってしまいます。ここで私が言うやっつけ仕事は、決して手抜きではなく、とにかくやる！やらなければならないからやっているもので、精度は高くても創造性に乏しいものになりがちな仕事のことです。目の前のことに追われていると俯瞰的、長期的な思考ができなくなります。特に問題は起こらないけれど位置はそのまま、前にも上にも進みません。

場所は、自宅のリビングでもいいし、図書館やカフェでもいいし、リゾートホテルやデジタルデトックスのできる山小屋でもいい。世間の動きが少し止まる夏。自分の時間を止める。そして、考えることで自分の中に新しい風を吹き込む。

最初的话题に戻りますが、1か月余りの夏休み。宿題なんて一切なしで、自分が興味を持ったことにひたすら時間を使える。そんな夏休みもいいのではないかと思います。夏休みの宿題は全くなくても日本より学力の高い国もあるようですし。

猛暑が続きます。くれぐれもご自愛なさいますように。

2025年8月 水田かほる